
2人ぼっち

花崎煎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

2人ぼっち

【Nコード】

N4372T

【作者名】

花崎煎

【あらすじ】

寂しがりやの女の子と無表情な男の子が恋をして。

でも、だんだん二人の心は遠ざかっていってしまつて。

辛くて、悲しくて、だから強くなれた

そんな女の子の話です

海に見える夕暮れの坂道を、いつも2人で上っていた

いつも寂しかった私と、いつも反抗的だった君と

手をつないで、長い坂道を上っていた

他愛ない会話に笑って、泣いて、怒って

日々が過ぎていくのは早い

10年後私は何になっているんだろう？

予想もできなかった未来だったのに、

あっという間に私は未来を現在へと変えてしまった。

10年後、私は相変わらずの寂しがりで、

相変わらず、君との2人ぼちが心地よくて、

君は？

10年後の君は何にも言わずに、ただ私の手をとった。

冷たいね、と私が笑ったら、君も笑った。

横顔が、すっかり大人っぽくなっていた。

そしてさらに、もつとずっと先の未来。

特に期待できる物もなく、大した趣味も持っていないわけではなくて、まったく待ち望んでいなかった未来も、私は現在へと変えてしまった。

そんなもつとずっと先の未来の時

私と君は、永遠の愛を誓った。

いつの間にか好きになっていた、君の事を。

観客の少ない結婚式で、大好きのキスをした。

無表情な君は、そつと涙を零していた。

天使が零した滴のようなそれは、とてもとても綺麗だった

幸せだった、永遠の2人ぼっちが嬉しかった

君の感情の変化を見られて、私の感情の変化を見たらそれでもいい。

君の無表情な顔は、いつの間にか晴ればかりになって

私は負けじと快晴の表情をつくって

いつの間にか君の表情は曇りばかりになって

私は雨ばかりになって

いつの間にか君は、私の知らない所で雨を降らせていて

いつからだろう？私と君は別の空間に生きるようになった

あせって君のことを追いかけて、追いつめても結局何も変わらなかった

いっぱいいっぱい君のことを好きなのは私だけなのかもしれない
そう思ったらどす黒い不安に包まれて、死んでしまいそうだった

喧嘩して、仲直りしたのに、またそれを繰り返して

私は一人ぼっちになった

結局君に、心の底を打ち明けられぬまま

私は、まだ君のことが好き

君の角張った優しい両腕が、笑うと優しげになる目元が

コンプレックスだ、と嘆いていた細すぎる髪の毛ですら

全部全部、大好き、壊れるくらい抱きしめてあげたい

でも、もう触れられない

君のこと世界一大好きなのに、二度と交わらぬまま、世界は終わる

未来は努力せずとも、望んでいなくとも現在になっってしまうのに

過去をいくら欲しても、取り戻そうと追いかけても

追いつくことはない

二度と触れられない

思い出の中にしか居ない君が、私を慰めて、逆に傷つけたりもして

私はただ、待つ

君を忘れられる未来が来ることを

寂しくなんてない、寂しくなんてない、寂しくなんてない

私はもう寂しがりやでも泣き虫でもない

君は、最後の最後にも、私に何かを与えてくれるんだね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4372t/>

2人ぼっち

2011年5月21日15時23分発行